

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	華東師範大学 (中国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	対外漢語学院 普通言語班		
報告書提出日	2019年9月25日		
留学予定期間	2019年9月～2020年1月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 160000 (円) /合計

航空券代： 75000 (円) /合計

ビザ申請関連費： 12000 (円) /合計

その他（海外保険）： 57000 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

6月に入学許可書が届き、寮の案内や日程表が配られた。

その後 visa を取得し、航空券を予約。

7月半ばに寮の予約を取ったが、回線が込み合い時間がかかった。さらに事前資料に載っていた寮のいくつかは選択肢になく、本来の希望ではない寮を選択した。

1.2. 渡航について

行きは羽田空港から上海の虹橋空港に向かった。

現地では華東師範大学の大学院生である知人が空港で出迎えをしてくれた。

移動はタクシーで 40 元ほどかかった。

移動時間は 40 分前後。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

入寮の注意事項を確認、署名し寮費とデポジットを 11000 元支払った。

寮費は一括支払いのため、これから支払うことは無い。

デポジットで 1000 元必要なため、かなりの現金が必要。

部屋は二人部屋のシャワー、トイレ付。部屋は 7～8 畳程で、ベッドが二つあるため狭い。

洗濯機が電子マネーのみ利用可能なため、銀行口座を開けない短期生は不便。

私はルームメイトが長期留学生なため、洗濯時には助けてもらっている。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

半期間の留学のため、滞在許可、外国人手続きはなかった。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

9/3 入学手続きとクラス分けテスト。クラス分けテストでは口頭の質問とペーパーテストを受けた。結果は授業初日の当日に教室前の掲示板に張り出されていた。

9/6 オリエンテーション。学内 Wi-Fi のパスワード、サークルの紹介、学内施設の案内など、生活に必要な情報を得ることができる。

9/11 法律講習会。中国の法律について英語で説明を受けた。時間は1時間半程度。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

なるべく多くの外国人と国際交流をはかり、自分の知らない世界を知りたいと思う。そして価値観を広げ、将来の選択肢を広げたい。中国語についてはリスニングが苦手なため、中国人とコミュニケーションをとる中で、中国語力を上げたいと思う。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

留学前はとにかく語彙力を増やそうと思い、単語帳で単語の暗記を進めてきた。漢字を見れば意味を理解できることは多いが、リスニングはとても難しい。会話では何度も聞き返したり、ジェスチャーを使って伝えてもらうことが多い。なるべく多く会話をして耳を中国語にならしたいと思う。

3.3. 今月の学習・研修目標

リスニングが課題と感じているため、中国人と多く会話したいと思う。授業内だけではなく様々な場面で積極的に会話を試みようと思っている。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	口語（初級口語課Ⅱ）8：30～11：45
火	読み（初級総合課Ⅰ）8：30～11：45
水	リスニング（初級聴力課Ⅱ）8：30～11：45
木	口語（初級口語課Ⅱ）8：30～11：45
金	読み（初級総合課Ⅰ）8：30～11：45
土	
日	

4.2. 授業について

口語（初級口語課Ⅱ）（90分/一コマ）（4コマ/週）

口語は基本的に先生の話聞きながら教科書を読む。先生は簡単な中国語で色々な単語を教えてくれる。質問もしやすいが先生の話すスピードが速いため、理解できない単語もある。

読み（初級総合課Ⅰ）（90分/一コマ）（4コマ/週）

読みの授業は宿題を主に解説していく授業。宿題はかなり多めに出されるため、毎日2時間程度宿題に時間がかかる。

リスニング（初級聴力課Ⅱ）（90分/一コマ）（2コマ/週）

リスニングは教科書の問題をCDの音源を聞きながら答える授業。個人的には一番難しく、周りの生徒も苦心しているように思う。

4.3. 予習・復習・自習について

口語は先生が丁寧に説明してくれるため、復習、宿題がしやすく、理解も早い。

リスニングは丁寧に説明してくれるが、答えを理解するのに時間がかかる。そのため復習もしづらい。

読みは宿題が多く、その宿題を使った授業になるため、宿題にかなり時間がかかる。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

去年一か月北京に滞在した経験もあり、あまりストレスを感じずに生活することができている。体調も崩すこともなく、順調な生活を送れている。食事については学内に二つ食堂があり、種類も豊富である。ただ辛い物が多く、日本食との違いは感じる。それでも未だ体調は崩れていないため、食事について不便なことはないと思う。寮は少し狭いと思うが、ルームメイトが日本人で理解がある方で、生活しやすい。

5.2. 課外活動について

休日は、仲良くなった人たちでサッカーやバスケットボールなど、スポーツをして過ごしている。スポーツ環境もよく、様々なスポーツをすることができる。サッカーサークルにも参加し、スポーツ面ではすごく充実している。スポーツを通じて様々な国の人と交流ができるので、これからもスポーツは続けていきたいと思う。日本人の友人もでき、外灘や新天地などの観光もした。

5.3. 現在までの感想

去年北京に一か月短期留学した経験を活かして、順調に生活できていると思う。食事にも慣れ、体調を崩すこともない。しかし学習面や私生活において、中国語を聞き取ることが難しい。上海に来て3週間ほどたったが未だに日常会話で聞き取れない言葉が多い。言葉が伝わらず苦勞することも多いが、速く中国語になれるためにも中国語での会話に積極的に取り組みたいと思っている。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (12月)

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	華東師範大学 (中国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	対外漢語学院 普通言語班		
報告書提出日	2019年12月5日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

多くの外国人と国際交流をはかり、自分の知らない世界を知りたいと思う。価値観を広げ、将来の選択肢を広げたい。中国語についてはリスニングが苦手なため、中国人とコミュニケーションをとる中で、中国語力を上げたいと思う。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月は徐々に苦手なリスニングの授業にも慣れはじめ、中国語を学ぶことがより楽しくなったように感じる。中間テストでは口語の発音に苦労したが、特に問題なく終えることができた。しかし、体調不良が続いたため、私生活面での自己管理には気を付けたいと思う。

1.3. 今月の学習・研修目標

今月は期末テストに向け、今まで勉強してきた内容の復習に取り組みたいと思っている。リスニングと同様に中国語の発音が苦手なため、授業中の積極的な発言や先生との会話の中で練習したいと思う。

2. 学修について

2.1. 授業について

口語

教科書の読解と先生の質問に対する回答が主な内容となっている。また、パワーポイントを使用しているプレゼンテーションや、宿題の内容についての話し合いなど、授業外の学習時間が増えた。

リスニング

あまり変化が無く、教科書の内容についての音声を聞いて問題を解いている。

読解

教科書が新しくなり、内容も難しくなった。知らない単語が多く、本文のピンイン表記が消えたため、しっかり予習と復習をしないと内容の理解ができない。

2.2. 予習・復習・自習について

口語

口語の授業では宿題を扱ったプレゼンテーションや話し合いを行うため、宿題をやらないと授業中の対応ができなくなる。そのため、口語の宿題にはかなり時間がかかる。

読解

読解の教科書の復習は、主に新出単語の暗記と本文の音読に取り組んでいる。

リスニング

リスニングの授業の予習と復習は特に行っていない。

2.3. 語学力について

語学力は徐々に上がっていると思う。リスニング能力も上がり、相手方が何を言っているのか分かるようになってきた。しかし中国語の発音が難しく、自分の言いたいことが相手方に伝わらないということがよくある。伝わらないという恥ずかしさや不安もあるが、積極的に発言して上達できるように頑張りたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

特に不便なことは無く生活できている。ルームメイトとの関係も良好であり、生活しやすい環境だと感じている。大学のすぐ隣には大型ショッピングセンターがあり、そのショッピングセンターに行けば生活に必要な物は大体手に入る。気候は日本とほとんど変わらないが、空気汚染が目に見えてわかる。今のところ身体に影響は無いと感じているがマスクやうがいなどの対策はしている。食事については学内に4つの食堂があり、値段も安い。しかしよくお腹を壊しているので注意したい。

3.2. 課外活動について

休日は主に運動をしている。最近は社会人のサッカーチームに参加し、休日に試合や練習など、充実した課外活動を行えている。社会人の方々は中国に駐在員として働きに来ている日本人が多く、仕事や私生活についての貴重な話も聞くことができる。

3.3. 現在までの感想

現在までは特に大きなトラブルもなく充実した留学生活を送ることができている。しかし留学生活も残り一か月となってしまい、語学力の上達や生活面での慣れを感じている中での帰国は非常に残念に感じている。中国での生活は日本では経験できない事ばかりで様々なことに興味を持った。残りの一か月を無駄にしないように私生活や課外活動など、最後まで頑張りたいと思う。3年の後期という時期もあり難しいかもしれないが、さらに中国に留学できるプログラムなどあれば教えて頂きたい。

以上

神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

所 属	経営学部	学 科	国際経営学科	3 年次
派遣先大学 (国)	華東師範大学 (中国)			
所属プログラム・ 学部・研究科	対外漢語学院 普通言語班	履修言語	中国語	
留学期間	2019 年 9 月～2020 年 1 月			
報告書提出日	2020 年 1 月 31 日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall semester	9 月 9 日 ～1 月 1 日 (17 週)	12 月 31 日 ～1 月 7 日	クラス分けテストの結果、1-4 班という中級クラス所属になったが、二日間授業を受けてみて中国語力が足りず、聞き取りができなかったため一つ下のクラスである 1-3 班に移動。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall Semester	初級総合課 I	102 時間	講義は火曜日と金曜日に 180 分、授業内容は教科書の読解と、毎回の授業の中で教科書の内容に沿った創作劇の発表。 中間試験、期末試験の勉強としては、教科書の内容の復習、新出単語の暗記をした。
		3 (時間/回) × 2(回/週) × 17(週)	
Fall Semester	初級口語課 II	102 時間	講義は月曜日と木曜日に 180 分、授業内容は教科書の読解と、毎回の授業で課される宿題を利用したディスカッション。中間試験、期末試験の勉強としては、教科書の内容の復習、新出単語の暗記、宿題で書いた文の暗記をした。
		3 (時間/回) × 2(回/週) × 17(週)	

Fall Semester	初級聴力課Ⅱ	51 時間	講義は水曜日に 180 分、授業内容は教科書に付属している CD を聞きながら教科書の問題を解く。中間試験、期末試験の勉強としては、教科書の内容を付属の CD を聞きながら復習した。
		3 (時間/回) × 1(回/週) × 17(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

学習するうえで心がけていたことは、単語の暗記である。毎回の授業で新出単語が多く出てくるが、できるだけ多くの単語を暗記できるように復習に取り組んでいた。単語は語学の基礎になるものであるから特に力を入れて取り組んだ。その次に日常生活で役立つフレーズを暗記して実用することを心がけた。理由としては日常生活でよく使われる言葉を覚えることで、より自然な口語を覚えることができるからである。日常生活でよく聞こえてくる中国語を周りの人に質問し、辞書で調べることによって暗記し、積極的に利用した。

1.4. 語学力について

留学前は簡単な文章を読み解くことしかできず、実際に中国に行って中国人の話す中国語を聞いても何も理解することができなかった。文章になると理解できる漢字も多少あり、文の意味の推測ができるが、音で聞くとほぼ理解不能だった。授業も中国語のみなため、留学当初は先生の話していることを理解するのに苦労した。しかし単語の暗記に力を入れ始めてから、徐々に日常会話や授業内容も理解できるようになった。

留学後の語学力としては、ある程度の日常会話が可能になったと思う。最初は聞き取れなかったネイティブな中国語もはっきりと聞き取れることが増えた。文章の読解についても多くの単語を覚えることができたため、留学前に比べて難しい文章の読解が可能になった。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

単語の暗記

単語の暗記については語学を学習する上で必要不可欠なものであり、特に力を入れて取り組んだ。方法としてはノートに漢字とピンインを書き写し、音読した。成果は、留学当初に比べて難しい文章の読解が可能になったことと、日常会話の中で聞き取れる単語が増えたことだ。

教科書の復習

教科書には日常生活で使える表現や単語が多く、教科書を復習するだけで語学力が向上。成果としては期末試験の対策になった。

日常会話の中での質問

日常会話の中で質問をしていくことで一番語学力が伸びると感じた。実用しながら覚えることができたため勉強しているという感覚もなく、自然に中国語を覚えることができた。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

学習面での反省点は電子辞書を持って行かなかったことである。携帯の翻訳アプリやウェブサイトです単語の検索ができるからと思い電子辞書を持って行かなかったが、携帯の翻訳アプリはかなり曖昧な表現や、誤った翻訳をしてしまう事が多々あり使いづらく、ウェブサイトは調べるのに時間がかかる。電子辞書があればわからない単語をネットワーク環境が無くてもすぐに検索できるため、あるととても便利だと思う。

2.3. 留学生活で得られたもの

留学生活での一番の成果は、交友関係が広まり、友人から多くのことを学ばせてもらったことだと思う。留学当初は誰も知らない環境での海外生活だったため不安やストレスを抱えていた。しかし学校が始まると徐々に知人も増え、観光や食事を共にすることが多くなった。海外で出会った人々は様々な価値観や個性を持っていて、一緒に生活するだけで勉強になることが多かった。違う国や環境で育った人の意見は自分自身の固定概念や考え方を大きく変えるきっかけとなった。個人的にはネガティブな思考がポジティブな思考へと変わったことが大きな成長だと感じている。海外の人の多くは失敗を恐れず積極的に物事に取り組むが、私は失敗を恐れ、行動に移せないことが多かった。しかし実際に海外の人達と生活することによって挑戦と失敗が恥ずかしいことではないと強く感じた。これからの人生を充実させるためにも多くの挑戦と失敗を繰り返す覚悟をして生活していきたいと思った。このように様々なことを学ばせてもらった友人と知り合うことができたのは大きな成果だと思う。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

生活面

生活面における反省点は、体調管理が不十分だったことである。海外での慣れない環境での生活や、食文化の違いなどもあり、体調を崩すことが多かった。個人差があると思うが、体調が崩れてしまうことも想定し、薬を持って行った方が良いと思う。

学習面

学習面における反省点は、電子辞書を持って行かなかったことである。携帯の翻訳アプリは正確な翻訳がされないことがあるため、電子辞書を持って行った方が良い。

その他

学生寮を選ぶ際には、国際交流サービスセンターより2号楼を選んだ方が良いと思う。綺麗で値段も国際交流サービスセンターに比べて安い。スポーツや趣味などは積極的に取り組んだ方が良い。私はサッカーを通して様々な人と関わることができ、交友関係が広がった。海外では人との出会いが重要で、人と関われる場に身を投じることが充実した留学生活にも繋がってくると思う。華東師範大学にはサークルも多く学生であればだれでも参加できるため、積極的に取り組んでみると良いと思う。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年1月18日

所 属	経営学部	国際経営学科	3 年次
派遣先大学	華東師範大学		5 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	(二人部屋、1R、シャワー・トイレ付、ルームメイト日本人)
3	入居時手続き	(寮のフロントで入寮手続きを行い、デポジットとして1000元支払う。)
4	費用(月額)	2300(元)(食費含まない/月)
5	支払方法	入寮時に4か月半分の家賃を現金一括支払い。
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	(大学のすぐ隣にグローバルハーバーという大型のショッピングモールがある。モール内にはスーパーも含まれており、生活に必要な物は大概揃えることができる。)
9	アクセス	(寮は大学内)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(国際交流センターは値段の割に設備はよくない。別の学内寮か、学外の宿泊施設が良いと思う。)

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(知人の中国人に付き添ってもらい、SIMの小売店で購入。)
4	自宅のインターネット接続環境	無線(大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線(大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		
1	宿舍費	2300（元）/月
2	食費	2000（元）/月
3	交通費	200（元）/月
4	通信費	50（元）/月
5	娯楽費	1500（元）/月
6	図書費	0（元）/合計
7	学用品（教科書など）	50（元）/合計
8	被服費	500（元）/合計
9	医療費	0（元）/合計
10	雑費・その他	0（元）/合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳		
11	出願料・宿舍デポジット	1000（元）/合計
12	ビザ申請関連費	12000（円）/合計
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	75000（円）/往復
14	その他	0（円）/合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	500000（円）/合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：230000円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：三菱） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	手続き方法・利点・欠点	中国ではキャッシュレスが進んでいるため、ほとんどの人が携帯の電子マネー支払いをする。その電子マネーを利用するためには銀行口座を中国で開設する必要がある。
19	お金に関するアドバイス	銀行カードは作った方がよい。支付宝、we chat pay、などの電子マネーは非常に便利。使えるようにしておいたほうがよいと思う。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	D19（5か月分で47260円）
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	中国の料理は油が多いので胃腸薬は持っておいた方がよい。

V. 持ち物について

1 日本から持っていったもの
衣服、洗剤、コンタクトレンズ、薬、携帯、お菓子、カップ麺、現金、パソコン
2 現地で購入したもの
冬物の服、洗剤、ドライヤー、中国の携帯
3 (自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
特になし

VI. 留学先で困ったこと

食事に慣れるまで時間がかかり、よくお腹を壊していた。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

食事になれるまでは気を付けた方が良い。現金を使うこともほぼないので、銀行カードを作り、電子マネーを利用できるようにした方が良い。スポーツを通して多くの交友関係を築くことができたため、何か趣味などがあれば中国でも続けてみるとよいかもしれない。